

総務省政務三役会議

平成 22 年 4 月 6 日
15:30 ~ 16:00
進行：渡辺副大臣

1 大臣挨拶

2 協議事項

3 報告事項その他

- 予算執行監視（所管公益法人・独立行政法人関連）に関する報告（渡辺副大臣）
- 「屋外タンク貯蔵所の保安検査の周期に係る調査検討会」開催について
（小川大臣政務官） 資料3

「屋外タンク貯蔵所の保安検査の周期に係る調査検討会」開催について

1 目的

容量1万キロリットル以上の液体の危険物を貯蔵する屋外タンク貯蔵所については、消防法令の規定により、基本周期8年（保安のための措置がとられたものは10年又は13年）ごとに市町村長等による保安検査を受けることとされている。

行政刷新会議による「国家備蓄石油管理等委託費」の事業仕分け（H21.11.27）において、消防法令におけるタンク検査間隔について、安全性は十分に検証しながら、規制緩和の可能性を探ることが求められた。

そのため、保安検査に係る周期について、安全性の評価や検査周期のあり方等の検討を行う、屋外タンク貯蔵所の保安検査の周期に係る調査検討会を開催する。

2 検討項目

次に掲げる事項について調査・検討する。

- (1) 基本周期を延長した場合の安全性の評価（事故の発生状況・腐食の進行・耐震性の低下）
- (2) 検査周期のあり方
- (3) 内面保護コーティングの耐用年数



第1回検討会は4月23日に開催予定。

屋外タンク貯蔵所の保安検査の周期に係る調査検討会委員

(五十音順)

- | | |
|--------|-------------------------------------|
| 大塚 尚武 | 龍谷大学 機械システム工学科 教授 |
| 岡崎 慎司 | 横浜国立大学大学院 工学研究院機能の創生部門 准教授 |
| 亀井 浅道 | 元横浜国立大学 安心・安全の科学研究教育センター 特任教授 |
| 黒瀬 俊明 | 損保ジャパン・リスクマネジメント リスクエンジニアリング部長 |
| 次郎丸 誠男 | 元消防研究所 所長 |
| 土田 智彦 | 独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構 石油備蓄部企画課調査役 |
| 峯 昌紀 | 石油連盟 設備管理専門委員会委員長 (新日本石油株式会社工務部副部長) |
| 宮村 鐵夫 | 中央大学 理工学部経営システム工学科 教授 |
| 森 新一 | 全国消防長会 危険物委員会 (川崎市消防局予防部危険物課長) |
| 山田 實 | 消防研究センター 技術研究部長 |